

# 33 アートの会 1月度 座学 案内

日時；1月 21 日 水曜日 13:15 から 16:05

場所；市民センター @204 室 9579

## 漫画アニメの原画 若冲と応挙 聰竹居 落谷虹児 大ピンチ図鑑

今回は、アラカルトでいろんなものを楽しんでもらいましょう。

まず、日本の宝・漫画やアニメの原画について、現在の状況と今後どうするべきかを考えます。

新しく発見された若冲と応挙の合作屏風絵について、その成り立ちについてみてみます。

100 年も前に、現代人の理想的な住居を目指して建てられた「聰竹居」についてみてみます。

誰もが知っている童謡「花嫁人形」の作詞家であり画家でもあった落谷虹児の感動の物語。

今一番売れている絵本、「大ピンチずかん」の作者・鈴木のりたけさんについてみてみます。

### 1. NHK「マンガ・アニメ文化の行方 なぜ“原画”は海外へ」

13:15-14:15

たった 1 枚のマンガの原画が「3500 万円」。

いま、世界中でマンガの原画やアニメのセル画が高値で取引されている。

いったい、誰が、どのような目的で売買しているのか。

“美術品”として高額な値段がつく一方、近年では文化的資料としての見直しも進んでいる。

番組では売買の目的など原画をめぐる

海外の動向や、国が原画の収集・保全に乗り出した国内の動向を追う。

ナレーションは朴璐美が担当している。



### 2. 新・美の巨人たち

#### 新発見！若冲の金屏風は、応挙との合作コラボ…その真相に迫る！

14:15-14:40

新発見！奇想の絵師・伊藤若冲の金屏風は、なんとあの円山応挙との合作コラボだった。

躍動する鶴を超絶技巧で描いた若冲、対する応挙は神業のような鯉を練達の筆致で。

江戸時代の半ばの 18 世紀、京の町で暮らした二人は実はご近所さん。

しかし、17 歳も年の離れた二人に交流の史実はほとんどありません。



では、なぜ夢のような競演を成し遂げたのか。合作の根拠は？どちらが先に描いたのか？一体、発注者は誰なのか？奇跡のコラボのゾクゾクする真相に迫ります。

### 3. 新・美の巨人たち 藤井厚二「聴竹居」×内田有紀

14:40-15:05

昭和3(1928)年に建てられた「聴竹居」は、当時の最先端住宅です。今も京都・大山崎の天王山の麓に佇んでいます。昭和以降に建てられた、建築家の個人住宅では、初めて国的重要文化財に指定されました。

設計は、大正から昭和に活躍した建築家、藤井厚二。求めたのは、「豊かな暮らし」「穏やかな暮らし」…この家の至る所に



彼のアイディアが仕組まれているのです。今も見学者が引きも切らない日本の近代住宅の最高傑作「聴竹居」に内田有紀さんが迫ります。

### 4. 休憩

15:05-15:15

### 5. 新・美の巨人たち 落谷虹児「花嫁」はなぜ泣いている×八木亜希子

15:15-15:40

新潟県新発田市にある落谷虹児記念館。

3000点もの収蔵品が収まるここに代表作「花嫁」が。

その美しい相貌には涙が。なぜ？（絹本に描かれた日本画）

童謡「花嫁人形」の作詩で全国に名が知れた、詩人でもありました。抒情画という画風を生み出し、少女たちの心に寄り添う詩をいくつも発表しました。

幼い頃に母を亡くし、絵筆一本で家族を支え、新潟、東京、樺太、パリと波乱の人生を歩んだ画家が、描かずにはいられなかつた作品なのです。



晩年に竹久夢二との事を語るインタビューや、彼が手掛けた日本初のカラー短編アニメの貴重な映像を交え、「花嫁」の涙の謎に迫ります。

### 5. 新・美の巨人たち メガヒット絵本「大ピンチずかん」作者はおもしろがる天才！ 15:40-16:05

空前のヒットとなった絵本「大ピンチずかん」の世界を体感できる展覧会が東京・立川で開催中！作者・鈴木のりたけ氏が自ら考えた遊び心に溢れる様々な仕掛けを、子どもから大人まで楽しんでいる。

アトリエを訪ねるといきなり自撮りから始まって…絵の制作現場は意外性の連続！誰にでも一瞬でわかる絵を描くことが大切と言い切る、試行錯誤を重ねる様子を紹介。

そして今「大ピンチ」は絵本の枠を飛び越えて新たな表現へ！

絵本の読み聞かせがライフワークの南果歩さんが、鈴木さんの創造の源を解き明かす。



以上